



生きた基礎学力

研究主任 森下 久乃



1m定規を使って、1㎡を体感しました！

初等科では、各教科で共通して、次の3つの力を大切にしています。

思考力：知識を覚えるだけではなく、「なぜだろう？」と自ら問いを立て、論理的に考える力

活用力：身につけた知識や思考力を、初めての課題や実生活の場面に結びつけて、応用していく力

対話力：単なる言葉のキャッチボールではなく、自分から相手に関心をもって関わり、協力し合いながら物事を進めていく力

そして、この3つの力を支えるのが「基礎学力」です。今年度は「これからの時代を豊かに生きるための探究力、思考力を

育てる～基礎学力の向上を図りながら～」を研究テーマとし、教員一人一人の授業力の向上をめざして研鑽をつんでいます。

探究力、思考力につながる「基礎学力」とはどのようなものなのでしょう。反復練習は知識や技能を定着する上で効果的な側面がありますが、「生きた基礎学力」とは言えません。私たちがめざすのは、情報を取り出す力、関連づける力、読み解く力、ICTやAIを活用する力など、自ら探求し思考する助けとなる使える「基礎学力」です。

基礎学力の向上のために、算数の授業では、迷ったり、分からなかったりした際、これまでの学習を思い出しながら「線分図に表して、数量関係を整理してみよう」「簡単な整数に置き換えてみよう」「絵に表してみよう」といった言葉が子どもたちの中からでてくるように、教員は発問の仕方を工夫したり、投げかける言葉を吟味したりしています。

また、様々な体験ができる場を子どもたちにどれだけ提供できるかも、教員の務めの一つです。

5年生英語ではオーストラリアの小学5年生とZOOMでつながり、1対1で交流しました。緊張しながらも、英語のコミュニケーションを楽しみました。

6年生社会科では、港区の選挙管理委員会の方に来ていただきながら、6年区長選挙を行いました。立候補者の演説を聞き、自分の気持ちを一票にのせて投票を行いました。当選した区長は現在、公約を守り、6年区長として責務を果たして、活動中です。

現地・現物にふれる好奇心は、子どもの「知りたい」という探究心の第一歩となり、必然的に生きた基礎学力を使って、主体的に活動することにつながります。

創立者、マザーバラの教育理念である「より良い社会を築くことに貢献する賢明な女性の育成」につながるべく、今日も教室では、子どもたちの学びが続いています。



オーストラリアの児童と交流しました！

7月の行事予定

1日(水)	6年きく・ふじ組美術館見学(PM)	10日(金)	面談日②・午前授業
6日(月)	ハイチデー 1年・転編入保護者会 1年防犯教室(4限)	14日(火)	～16日(木) 4年校外学習
7日(火)	私学半日研修・午後家庭学習	16日(木)	6年TGG訪問
9日(木)	面談日①・午前授業	17日(金)	7月の会・学活・大掃除(AM) (4年生休み)

豊かに育て、心も 表現力も

国語科主任 鬼塚 絢香



先日、5年生と清里へ校外学習に行っていました。清里では、ほうとう作り、田植え、自然体験学習など、たくさんの体験をしました。台風の影響で、宿舎の中で活動する時間もありましたが、予定していた清里の森へのハイキングもでき、充実した3日間を送ることができました。

その後の授業で、清里の思い出を俳句で表現するという学習を行いました。どのような音がしたのか、どのような匂いか、感触はどうかなど五感を働かせて清里で体験した様々なこと、その時の様子を

思い出し、自分の伝えたいことにぴったり合う言葉や表現を吟味して、一つの俳句にしていました。瑞々しい感性から詠まれた俳句は、個性があり、面白い表現が数多くありました。また、夏の季語について子どもたちと調べていくと、例えば、「緑」に関する季語にも、新緑・若葉・青葉・万緑・緑陰…など、たくさんの表現があることがわかりました。俳句の授業を通して、日本人はそもそも豊かな感性をもち、自然を尊び、その恵みを大切にしている習慣があること、日本語には、森羅万象を表す語彙が豊富に用意されているということに、私自身も改めて気づかされました。



国語科では、語彙を豊かにすることを大切にしています。自分の気持ちや考えを適切に表現するためには、使いこなせる語彙が多くある必要があります。そのため、感情表現を集めることや同義語や類義語・対義語を集めること、気になる言葉は辞書を引くことなどを低学年から積み重ねていきます。また、たくさんの本に親しむことや新聞記事を読むことなど、多様なテキストに触れることも、語彙力や表現力の向上につながると考えています。一方で、心が動かされる経験をすることは表現することへの原動力になると感じています。それは、特別な経験に限らず、身の回りの小さな発見や日常生活の様々な

出来事をどのように心で受けとめるかということではないでしょうか。子どもたちを見ていると、自然豊かなキャンパスの中で学び、様々な発見をしながら成長し、感性が磨かれているのを感じます。また、日々祈り、様々な場面でふり返りをする中で、自分の考えに目を向けることはもちろん、他者の気持ちも大切にすることで、思いやる心を育てているように思います。そうした内面の育ちが、豊かな表現力に結びついているのでしょう。

AIに適切な言葉を入力してオーダーすれば、最もらしい作文を書くことができちゃう時代です。五感を使って感じ、心を動かされた経験や自分自身で深く考えたプロセスは何ものにも代えられません。学校生活の中で豊かな心を育み、自分の気持ちや考えを豊かに表現できる子どもに育ててほしいと願っています。



(文中写真：5年生校外学習より)

9月の行事予定

1日(火)	9月の会・午前授業	21日(月)	敬老の日
2日(水)	午前授業	22日(火)	国民の休日
3日(木)	午前授業	23日(水)	秋分の日
5日(土)	第2回初1学校説明会	24日(木)	午前授業
9日(水)	～11日(金) 6年校外学習	25日(金)	1～3年遠足 5年きく・ふじ組美術館見学(PM)
10日(木)	5年まとめのテスト	28日(月)	後期児童会立ち会い演説会
14日(月)	5年ばら・ゆり組美術館見学(PM)	29日(火)	午前授業
16日(水)	泉の会代表幹事会		